

～活性化への扉～

vol.5(企業編)

やっさ祭りであちづくり!! vol.5

本年度広報メディア委員会では、みはらのまちの活性化について若者編・観光編など、さまざまな視点から取材活動を行ってきました。今月号では、合併後老人の人口割合が増し、要介護者のケア、デイサービスといった老人介護に関して重要な福祉施設 社会福祉法人 泰清会 サンライズ大池 施設長 本井俊一氏と児玉忠則氏へ今後の福祉事業の展望などをお聞きしました。



社会福祉法人 泰清会 サンライズ大池
理事 施設長 事務長
本井 俊一(もとい しゅんいち)氏



社会福祉法人 泰清会 サンライズ港町
開設準備室 室長
児玉 忠則(こだま ただのり)氏

本年11月に旧三原郵便局跡地へケアハウスを竣工されますが、なぜ駅前に福祉施設が必要だと思われたのですか。

平成12年の4月に介護保険が始まりましたが、このサービスの良い所は施設を自分で選ぶことが出来るようになった事です。また、民間業者も加わり露天風呂がある施設、ジャグジーのある所、インターネットの環境が良い施設など、ここ数年で様変わりしてきました。

これからは、入居しようとしている方々のニーズは様々です。中には、山の中の静かな所で過ごしたいという方もいますが、そんな人ばかりではありません。利用者がどのような施設に入りたいかということと、私達は考えなければなりません。将来、自分が介護を受けるようになった時、何処へ行きたいか。今、私達が考えるのは生活してきた場所で近隣との環境を壊さずに、そのまま生活を継続することの出来る介護の方法と、街なかで交通の利便性があり買い物しやすい都市型の施設がもっとも良いと私たちは考えました。

福祉の地域(まち)みはらをどのように全国にPRしますか。

あくまでも予測ですが、ケアハウス港町が完成した後、全国から福祉関係の方が見学に来られると思いますし、地域での波及効果はある程度、期待できるかも知れませんね。そして見学を兼ねて三原の観光もしていただき、三原の活性化の一助になることができれば幸いです。そうするには私達が常に新しい情報発信を継続していきたいですね。

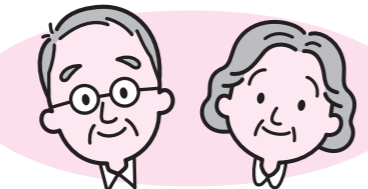


隣接して別の福祉施設が出来るそうですが、そちらを含めてこれからの福祉の在り方と人通り周辺の活性化についてどう思われますか。

そうですね、駅周辺の商店街に面している立地条件は全国でもほとんど例がありません。良い場所に造らせてもらえました。それをいかに街の活性化に繋げるかが施設側としての課題ですね。入居者の方達と地域の方達の交流が持てるイベントを企画したり、商店街や駅前周辺のPRを入居者の方達にしていきたいです。サンライズ大池は、4年かけて深町の方達というんな交流を続けています。小学校で福祉の授業に参加したり、我々の夏祭りに参加していただいたり、やっさ祭りなどは合同で出場しています。このように深町の住民の方達との交流はとてもスムーズです。港町では町内会と商売会の両団体と協働しながら活性化のお手伝いをさせてもらいたいですね。入居者の方達が地域に出たくなくなるきっかけづくりを考えています。これからの福祉といいますが私達の希望ですが、介護保険を利用しない暮らしですね。その為にはどうしたらいいか、各担当地域で家族の介護教室や転倒予防教室、元氣になりましょう教室などを開いています。できるだけ介護がいらないお年寄りを増やしたいです。自分の足で出掛けるのが一番楽しいですから・・・このようなことから今後は予防活動に注力していきたいと思っています。

情報発信

交流



取材を終えて・・・
今回の取材を通して、福祉施設と商店街での活性化の可能性には多いに期待できることだと感じました。介護保険制度を機に民間企業の参入とこれから益々福祉産業は活性化してゆくことでしょう。この福祉産業と他業種の連携など三原の活性化には波及効果が期待できます。「安心して暮らせる都市みはら」の実現に向けて一歩踏み出したのではないのでしょうか。

今年も大盛況の内に幕を閉じた「第29回三原やっさ祭り」。三原のまちの活性化に欠くことのできないこの「やっさ祭り」を通してのまちづくりに取り組んでこられた方々を一年を通じて紹介していますが、今回は今年の祭りで中学生による踊りチーム「やっさメモリーズ2004」を企画された本年度三原やっさ祭り実行委員会やっさ踊り委員長の住田誠さんにお話を伺いました。

領を得ないことも多く、本番までに何とかなるのかという不安は、最後までありました。



Q1 「やっさメモリーズ2004」とは？
三原市内の中学生に祭りに参加するという体験を通して、三原の伝統文化である「やっさ踊り」の魅力を伝えたいと考えて企画した事業です。参加した子ども達は、35名でした。

Q2 この企画を思いついたきっかけは何ですか？
中学生に対して、やっさ踊りを踊る機会を提供したいと考えたことがきっかけです。この事業は、単純に、参加した子ども同士の新しい出会いや、友達づくりの場という点もありますが、中学生という同世代のみの間でチームを作ってやっさを踊ることで、色んな団体や関係者の興味を引き、街全体で盛り上がりつつあるという期待も込めていました。また、参加した子ども達には、やっさ踊りという伝統文化を継承する担い手に成長してほしいという願いもありました。



Q3 はじめての試みということですが、苦労されたことは？
まず、募集に苦労しました。募集期間や、告知方法などが悪く、多くの子ども達に事業を伝えることができなかったと思います。そのような中、参加者同士で友達を誘って応募してくれたことが嬉しかったですね。
次に、中学生という参加者への対応に苦労しました。子ども達もそれぞれに取り組む姿勢は違いますが、元気のいい子やおとなしい子という違いもありました。チームとしてまとまるのかどうかという不安を抱えながら進んでいましたね。そして、地方演奏(お囃子)の楽器の手配に苦労しましたが最後に、市役所や踊り振興協の方に協力をいただいたり、本番を迎えることができました。最後に、もっとも不安だったのは、練習内容、ベースとその成果でした。初めてのことで、要

Q4 祭りを終えてどう感じられましたか？
子ども達は、クラブや塾などで忙しい中、やっさの勉強会やたくさん練習に参加してまじめに取り組んでくれました。その成果として、本番で踊り終えた後に、達成感を味わうことができたのではないかと考えています。祭りの後日、パーベキューと修了式を行ったのですが、反省会のなかで、前よりやっさ踊りが好きになったと言ってくれたので、この事業を行った成果はあったと思っています。近い将来、この子達が、この事業の運営スタッフとして中学生を指導してくれることを期待します。



取材を終えて・・・
中学生という時期は肉体的にも精神的にも子どもから大人へと変化していく実に不安定でもあり、多感でもある微妙な年頃です。その子達が、今回の企画に参加して得たものは非常に大きく、その後の人生においても一生忘れることのできない文字通り「思い出=メモリー」になったのではないのでしょうか。われわれは彼等のような後輩のよき手本となって、また彼等がその後輩たちの良い手本となる。この繰り返しを伝統と呼ぶのであれば、伝統とは自然と受け継がれていくものではなく、こうした努力によって受け渡してゆくものなのだと強く感じた取材でした。

(社)三原青年会議所 8月例会開催

総務・JC交流委員会(松尾清治委員長)は、去る8月19日(木)三原国際ホテルにおいて「家族会議でお互いをもっと知ろう!! 家族のような関係へのセカンドステップ」と題し(社)三原青年会議所8月例会を開催しました。



総務・JC交流委員会では現在までの事業の中で家族のような関係となるため、会員の相互理解がより深まるよう事業を行ってまいりましたが、会員同士が継続して

自発的に交流を持って頂き、さらにお互いをもっと知って頂くために今回はディスカッション形式を用い例会を開催しました。参加した会員は、今後も自発的にメンバーとの交流を深める事の大切さを感じていました。またメンバー各々の考えている事を深く知る事に繋がり、より深い家族への絆へ向けてのセカンドステップを踏み出しました。



ビジネスセミナー 開催!!

『素晴らしい経営の実現に向けて～最高のサービスとは～』

(社)三原青年会議所 会員拡大ビジネス研修委員会(菊川 美仁委員長)はCS(顧客満足)NO.1である東京ディズニーランドに勤められ、本当の意味の「働く」ということ、「教える」ということ、本当のサービスとは何かということをもっと体感された 香取貴信氏を講師にお招きし、ご自身のディズニーランドでの経験をもとにこれからの企業・行政・学校等の運営にあい通じる「顧客重視した経営」について講演をとおしたビジネスセミナーを開催いたします。また、参加して頂いた方たちにディズニーランドで行っている「顧客重視の経営」の事例を参考に、自らの経営する企業経営に役立てていただけることを期待し開催します。



～講師プロフィール～

香取 貴信氏(かとり たかのぶ)
(有)香取感動マネジメント代表
1971年6月6日生まれ 32歳
東京都江戸川区に生まれる
学歴:私立関東第一高等学校
東京ディズニーランドユニバーシティー

- 開催日時 2004年10月8日(金) 18:30～21:00
- 開催場所 三原市能力開発支援センター
- 講師 香取貴信氏
- 参加料 無料
- 参加人数 150名(先着順)
- 参加方法 事前登録が必要ですので、三原青年会議所事務局までお問合せ下さい。

- 1987年7月:(株)オリエンタルランド準社員
- 【主な経歴】1995年3月:(株)シュウ研究所入社 文化施設事業部配属
- 2004年4月:(有)香取感動マネジメント設立 代表取締役

本誌「やっさまつり」は、(社)三原青年会議所の自主財産として掲載の企業のご協力を得て発行されています。

みどり幼稚園	三原市立第一小学校	三原市立第二小学校	三原市立第三小学校	三原市立第四小学校	三原市立第五小学校	三原市立第六小学校	三原市立第七小学校	三原市立第八小学校	三原市立第九小学校	三原市立第十小学校	三原市立第十一小学校	三原市立第十二小学校	三原市立第十三小学校	三原市立第十四小学校	三原市立第十五小学校	三原市立第十六小学校	三原市立第十七小学校	三原市立第十八小学校	三原市立第十九小学校	三原市立第二十小学校	三原市立第二十一小学校	三原市立第二十二小学校	三原市立第二十三小学校	三原市立第二十四小学校	三原市立第二十五小学校	三原市立第二十六小学校	三原市立第二十七小学校	三原市立第二十八小学校	三原市立第二十九小学校	三原市立第三十小学校	三原市立第三十一小学校	三原市立第三十二小学校	三原市立第三十三小学校	三原市立第三十四小学校	三原市立第三十五小学校	三原市立第三十六小学校	三原市立第三十七小学校	三原市立第三十八小学校	三原市立第三十九小学校	三原市立第四十小学校	三原市立第四十一小学校	三原市立第四十二小学校	三原市立第四十三小学校	三原市立第四十四小学校	三原市立第四十五小学校	三原市立第四十六小学校	三原市立第四十七小学校	三原市立第四十八小学校	三原市立第四十九小学校	三原市立第五十小学校	三原市立第五十一小学校	三原市立第五十二小学校	三原市立第五十三小学校	三原市立第五十四小学校	三原市立第五十五小学校	三原市立第五十六小学校	三原市立第五十七小学校	三原市立第五十八小学校	三原市立第五十九小学校	三原市立第六十小学校	三原市立第六十一小学校	三原市立第六十二小学校	三原市立第六十三小学校	三原市立第六十四小学校	三原市立第六十五小学校	三原市立第六十六小学校	三原市立第六十七小学校	三原市立第六十八小学校	三原市立第六十九小学校	三原市立第七十小学校	三原市立第七十一小学校	三原市立第七十二小学校	三原市立第七十三小学校	三原市立第七十四小学校	三原市立第七十五小学校	三原市立第七十六小学校	三原市立第七十七小学校	三原市立第七十八小学校	三原市立第七十九小学校	三原市立第八十小学校	三原市立第八十一小学校	三原市立第八十二小学校	三原市立第八十三小学校	三原市立第八十四小学校	三原市立第八十五小学校	三原市立第八十六小学校	三原市立第八十七小学校	三原市立第八十八小学校	三原市立第八十九小学校	三原市立第九十小学校	三原市立第九十一小学校	三原市立第九十二小学校	三原市立第九十三小学校	三原市立第九十四小学校	三原市立第九十五小学校	三原市立第九十六小学校	三原市立第九十七小学校	三原市立第九十八小学校	三原市立第九十九小学校	三原市立第一百小学校
--------	-----------	-----------	-----------	-----------	-----------	-----------	-----------	-----------	-----------	-----------	------------	------------	------------	------------	------------	------------	------------	------------	------------	------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	------------